

2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）損益計算書

明治安田生命保険相互会社
(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	3,768,212
保険料等収入	2,770,879
再保険収入	2,769,643
資産運用収益	1,236
利息及び配当金等収入	911,810
預貯金利息	807,260
有価証券利息・配当金	999
貸付金利息	677,845
不動産賃貸料	74,234
その他の利息配当金	37,991
有価証券売却益	16,190
有価証券償還益	15,762
為替差益	76,650
その他の運用収益	8,185
特別勘定資産運用益	125
その他の経常収益	3,824
年金特約取扱受入金	85,522
保険金据置受入金	16,217
退職給付引当金戻入額	52,178
その他の経常収益	9,455
経常費用	7,670
保険金等支払金	3,394,689
保険金	2,205,432
年金給付	637,897
解約返戻金	614,555
その他の返戻金	395,524
再保険料	463,306
責任準備金等繰入額	89,249
支払準備金繰入額	4,897
責任準備金繰入額	465,609
社員配当金積立利息繰入額	15,301
資産運用費用	450,211
支払利息	97
金銭の信託運用損	227,135
有価証券売却損	12,572
有価証券評価損	184
有価証券償還損	37,527
金融派生商品費用	17,708
貸倒引当金繰入額	4,983
賃貸用不動産等減価償却費用	130,169
その他の運用費用	341
事業費	9,516
その他の経常費用	14,132
保険金据置支払金	357,421
減価償却費用	139,090
その他	78,698
減価償却費用	27,606
その他の経常費用	28,125
	4,660
経常利益	373,522
特別利益	2,409
固定資産等処分益	2,409
特別損失	136,629
固定資産等処分損失	1,547
減損損失	1,204
価格変動準備金繰入額	131,380
不動産圧縮損	1,931
偶発損失引当金繰入額	0
社会厚生事業増進助成金	565
税引前当期純剰余	239,302
法人税及び住民税	52,912
法人税等調整額	△36,140
法人税等合計	16,771
当期純剰余	222,530

損益計算書の注記

1. 子会社等との取引による収益の総額は、18,957百万円、費用の総額は、38,849百万円であります。
2. 有価証券売却益の内訳は、国債等債券1,705百万円、株式等3,287百万円、外国証券10,769百万円であります。有価証券売却損の内訳は、国債等債券78百万円、株式等488百万円、外国証券36,960百万円であります。有価証券評価損の主な内訳は、株式等11,361百万円、外国証券6,142百万円であります。
3. 支払備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払備金繰入額の金額は262百万円、責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再責任準備金繰入額の金額は5,014百万円であります。
4. 「金融派生商品費用」には、評価益が23,151百万円含まれております。
5. 当年度における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 資産のグルーピング方法

保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等全体で1つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供していない賃貸不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに1つの資産グループとしております。

(2) 減損損失の認識に至った経緯

一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

用途	件数	減損損失(百万円)		
		土地	建物	計
賃貸不動産等	1件	—	231	231
遊休不動産等	6件	692	280	972
合計	7件	692	511	1,204

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、賃貸不動産等については物件により使用価値または正味売却価額を、遊休不動産等については正味売却価額を適用しております。なお、使用価値については見積乖離リスクを反映させた将来キャッシュ・フローを1.90%で割り引いて算定しております。また、正味売却価額については不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額等から処分費用見込額を差し引いた価額、または公示価格等を基準にした評価額等をもとに算定しております。